

Aterm® WL11C2

PA-WL/11C2

11 Mbps Wireless LAN Card

ご使用になる前に

このたびは、『Aterm WL11C2』をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

目次

目次	2
ソフトウェアのご使用条件	3
安全に正しくお使いいただくために	7
1 ご使用にあたって	13
2 セットを確認する	15
3 各部の名前とはたらき	16
4 WL11C2 を接続する	17
5 設定する	31
6 修理・保守サービス	40
7 製品仕様	45

- Aterm[®] は、日本電気株式会社の登録商標です。
- Windows[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows[®] XP は、Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition operating system および Microsoft[®] Windows[®] XP Professional operating system の略です。
- Windows[®] 2000 Professional は、Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional operating system の略です。
- Windows[®] Me は、Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition operating system の略です。
- Windows[®] 98 は、Microsoft[®] Windows[®] 98 operating system の略です。
- Netscape[®] は、米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
- Mac、Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Acrobat[®] Reader は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2003、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2003

日本電気株式会社、NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客さまによるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意をいただけない場合は添付の CD-ROM を開封せずに、お求めになった取扱店に CD-ROM を含めた本製品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本製品の代金をお返しします。添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

- (2) お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。
4. 許諾プログラムの移転等
- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。
5. 逆コンパイル等
- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。
6. 保証の制限
- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限りです。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。
7. 責任の制限
- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。
8. その他
- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には、下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、メニュー画面に表示される「本 CD-ROM について」をクリックしてよくお読みください。

- パソコンに表示されるガイドに従って本商品の基本的な設定やインターネット接続のための設定などを行う「らくらくウィザード」(Windows® 版)
- 子機(無線 LAN カード)の無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
- 子機(無線 LAN カード)用のドライバー式 (Windows® 版)
- 機能や操作の方法などを説明している取扱説明書、機能詳細ガイドなどマニュアル類一式 (PDF ファイル、HTML ファイル)

CD-ROM の使い方

1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする

Windows® の場合は、自動的にメニュー画面が表示されます。

Macintosh の場合は、[MENU] アイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が表示されます。

ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

2 読みたいファイルのボタンをクリックする

(使用上のご注意)

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE でご使用の方

- ・添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows® の「スタート」をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する

名前の欄に CD-ROM ドライブ名と ¥Menu.exe と入力し、[OK] をクリックする

(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥Menu.exe)

また、パソコンにより異なりますが、メニューを自動起動しないようにするには、「SHIFT」キーを押しながら CD-ROM をセットします。

- ・ご使用のパソコンの表示色数の設定によっては表示画面上の色が乱れる場合があります。この場合はメニュー画面以外の部分 (デスクトップ等) をクリックしてください。
- ・CD-ROM をパソコンから取り出す時には、必ずメニューを終了させたあとに行ってください。メニューが起動中に CD-ROM を取り出すと、パソコンの動作が不安定になることがあります。
- ・Windows® XP/2000 Professional でらくらくウィザードのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

Mac OS X/9.x/8.6 (日本語版) でご使用の方

- ・CD-ROM をドライブにセットしてもウィンドウが開かないときには、CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
- ・Mac OS X は、クラシックモードでご利用ください。
- ・WL11C2 は、Macintosh ではご使用になれません。

CD-ROM の動作環境

Windows® 動作環境

- Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること
- 推奨環境
ハードディスクの空き容量：30MB 以上を推奨。
Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
メモリ 32MB 以上
800 × 600 Hi-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたカラーモニター

Macintosh 動作環境

- Mac OS X/9.x/8.6 (日本語版) が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること
- 推奨環境
ハードディスクの空き容量：10MB 以上を推奨。
Mac OS、Mac OS X の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
800 × 600 32000 色以上表示可能なカラーモニター
32MB 以上の空きメモリ
WL11C2 は、Macintosh ではご使用になれません。



お知らせ

PDF形式のファイルをお読みいただくためには、Acrobat® Reader4.0J以上が必要です。(Mac OS XではAcrobat® Readerは必要ありません。OSに標準のアプリケーションでお読みいただけます。)

メニューの「Acrobat Readerのインストール」をクリックするか、「READER」フォルダに含まれるファイルをダブルクリックすることでインストールすることができます。Acrobat® Readerの使用条件や最新の情報については、アドビシステムズ社のホームページをご覧ください。

機種によっては不要またはご使用にならないファイルがありますので、ご使用にあたってはルートにある「README」または「はじめに」をご覧ください。

表示画面

- ・サイズ：800 × 600 ピクセル以上
- ・色：Hi-Color (24 ビット) 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

メニュー画面と「らくらくウィザード」の画面が互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

- ・Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

警告

こんなときには

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取りはずし、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取りはずし、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。

本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取りはずし、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一、落としたり破損した場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取りはずし、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他の注意事項

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の接続を取りはずしてください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。
電波により影響を受ける恐れがあります。

本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

注 意

設置場所

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

禁止事項

本商品に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

本書に従って接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。
社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

STOP お願い

設置場所

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで 50 ~ 100m 程度です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。

本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

STOP お願い

禁止事項

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

動作中にはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、接続部には絶対に触れないでください。

日ごろのお手入れ

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。

無線 LAN に関する注意

無線 LAN 接続は、通信速度が ETHERNET ポートに接続した場合と比べ遅くなる場合があります。

無線 LAN の速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

その他注意事項

通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

1 ご使用にあたって

「Aterm WL11C2」は、128bitWEPの高いセキュリティに対応したPCカードタイプの11Mbps無線LANカードです。次のようにご利用いただけます。

WARPSTAR ベースの子機（WARPSTAR サテライト）
WARPSTAR ベースをワイヤレス親機として、その親機と離れたところから通信できます。

子機としてご利用の場合

PCカード TYPE スロットを搭載し、対応OSが搭載されているPC-AT互換機で使用できます。

なお、128bitWEPを利用できるのは、親機または通信相手のワイヤレス機器が、128bitWEPに対応している場合です。128bitWEP未対応の機器と通信する場合は、通常のWEPでご利用ください。

WL11C2は、WARPSTARベース（親機）の拡張スロットに装着することはできません。

親機と組み合わせて使用する場合の操作・設定方法については、親機の取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

本商品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。

本商品は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
- DS : 変調方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が40m以下であること
- : 帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

本商品は、次の認証番号を取得しています。

認証番号：   D03-0030JPB

暗号化を行う場合

暗号化通信の利用可否表

親機	子機側			
	WL11C2/ WL11CB/ WL11CA	WL11E (衛星モード) /WL11E2	WL11C	WL11U
WB7000H2				
WL11CAを装着した親機				
WL11Cを装着した親機				
WL54AGを装着した親機				
WL11E (アクセスポイントモード)				
WL11AP				

同一無線ネットワークにおいて WEP と 128bitWEP の混在はできません。

の組み合わせの場合だけ 128bitWEP が使用できます。

の組み合わせでは WEP が利用できます。

128bitWEP は従来の 40bit 鍵の WEP を拡張して 104bit 鍵にした暗号化機能です。



お知らせ

子機に添付されている CD-ROM (ユーティリティ集) の対応機種は、お使いの親機と異なることがあります。その場合は、お使いの親機に適合した CD-ROM をご利用ください。ユーティリティ、ファームウェアは、機能追加などのため順次バージョンアップしています。ホームページ AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) の【バージョンアップ】コーナーでお使いの機種と OS を選択し、[GO!] ボタンをクリックして表示された「バージョンアップ」ページで確認してください。お手持ちの WARPSTAR より新しいバージョンが掲載されている場合は、「バージョンアップ方法」に従ってバージョンアップすることをお勧めします。

利用できるワイヤレス LAN 製品の組み合わせの最新情報は、AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) にてご確認ください。

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

構成品

<p>WL11C2</p> 	<p>ご使用になる前に（本書）</p> 
<p>CD-ROM（ユーティリティ集）</p> 	<p>保証書 無線注意シール</p>

らくらくウィザードで接続と設定を行う

WL11C2 を接続するには、次の設定が必要です。

パソコンとの接続（ドライバのインストール）

サテライトマネージャのインストールと設定

らくらくウィザードでは、これらの設定がすべて行えます。

また、ドライバを手動でインストールして、設定を行うこともできます。（☞P27）

WL11C2 を子機としてご利用になれる OS は、Windows® XP/2000 Professional/Me/98SEのみです。Macintoshではご利用になれません。

子機（WL11C2）は、PC カードスロット（TYPE ）があるパソコンに取り付けることができます。

！ 注意

子機（WL11C2）は、「らくらくウィザードをインストールする」の「Step2 ドライバのインストールや接続確認」（☞P21）で指示があるまで挿入しないでください。

！

らくらくウィザードで設定を行った場合、Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行う場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。（☞P35）ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、ESS-ID ステルス機能はご利用になれません。

お願い

WL11C2 はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にご使用いただくことをお勧めします。

ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させないと、WL11C2 のドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。

WL11C2 と親機との距離は、1m 以上離してお使いください。親機と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

らくらくウィザードをインストールする

設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。

1 Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE を起動する
Windows® XP/2000 Professional の場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

2 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする
メニュー画面が表示されます。

メニューが表示されないときは
(←P5)

3 [WARPSTAR ユーティリティのインストール] をクリックする



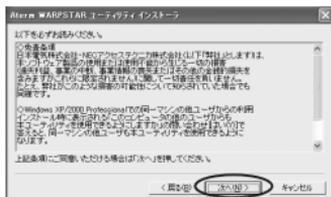
4 [次へ] をクリックする



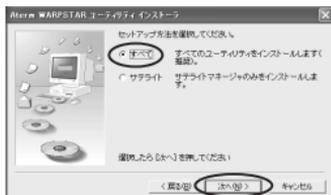
5 [次へ] をクリックする



- 6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする



- 7 [すべて]を選択し[次へ]をクリックする
[サテライト]を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

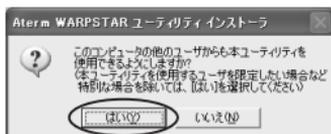


- 8 表示されたインストール先をインストールする場合は、[次へ]をクリックする
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



- 9 [はい]をクリックする
インストールが開始されます。

- 10 [はい]をクリックする



- 11 [READMEの表示]にチェックが入っている(☑)ことを確認し、[完了]をクリックする
らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。



(次ページに続く)

12 READMEをよく読み、[README] 画面を閉じる
インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

13 CD-ROMのメニュー画面の[終了]をクリックする
CD-ROMのメニュー画面の後ろに、らくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、メニューを終了すると表示されます。

➡ 「Step1 WARPSTARの接続方法の確認」(☞ 下記)に進みます。

? らくらくウィザードを起動するには

らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、[スタート]をクリックし、[プログラム] - [Aterm WARPSTAR ユティリティ] - [らくらくウィザード]をクリックします。

? らくらくウィザードの音声ガイダンスを停止するには

らくらくウィザードでは音声で説明がされます。音声ガイダンスを停止したい場合は、画面左下のをクリックしてください。

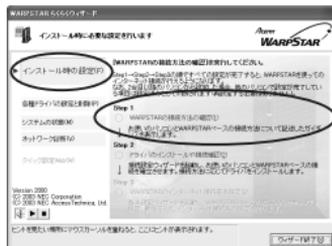
Step1 WARPSTARの接続方法の確認

1 らくらくウィザードを起動する (☞ 上記)

2 [次へ] をクリックする



3 [インストール時の設定] の [Step1:WARPSTARの接続方法の確認] をクリックし、接続方法を認める
親機の接続が完了している場合は [Step2 ドライバのインストールや接続確認] に進みます。

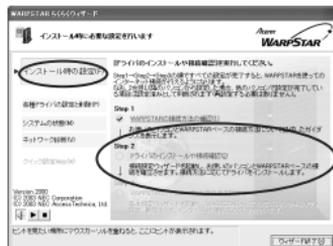


Step2 ドライバのインストールや接続確認

お願い

子機は、手順 5 の画面が表示されるまでパソコンに挿入しないでください。

- 1 [インストール時の設定] の [Step2
ドライバのインストールや接続確認]
をクリックする



- 2 [ワイヤレス LAN (カード) で接続]
を選択し、[次へ] をクリックする



- 3 [WL11C2] を選択し、[次へ] を
クリックする



(次ページに続く)

4 [実行]をクリックする

5 次の画面が表示されたら、子機をパソコンに取り付ける

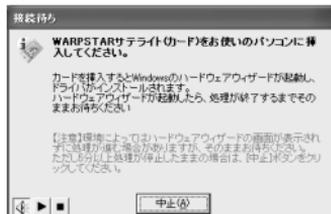
自動的にドライバのインストールが開始されます。

ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、次の項目の画面が表示されるまで操作しないでください。

パソコンのカードスロットに子機を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

WL11C2の取り扱いについて
(P26)

6 [実行]をクリックする



次の画面で親機の設定に合わせて無線 LAN カードの設定を行い、[次へ] をクリックする

[設定する機器] :

使用している親機に合わせて子機の設定を行う場合、「子機の設定のみ変更にする」を選択します。

親機も同時に設定を行う場合は、「親機の設定も同時に切り替える」を選択します。

[ネットワーク名] :

使用するネットワークの名称を入力します。
手順 7 で使用するネットワーク名を選択した場合はそのままにしておきます。

[無線動作モード] :

「802.11b」を選択します。

[チャンネル番号] :

親機と通信するチャンネルを選択します。

[通信モード] :

「アクセスポイント通信」を選択します。

[暗号化モード] :

- ・親機に暗号化の設定を行う場合

[暗号化モード] を暗号化の方法を選択し、設定したい [暗号強度] や [暗号化キー] などを入力します。

- ・親機に暗号化の設定を行っている場合

親機に設定している暗号化モードや暗号化キーなどと同じ内容を [暗号化モード] [暗号化キー] などに入力します。

暗号化の詳細については「暗号化の設定をする」(P34) を参照してください。
暗号化キー番号は1番に設定されます。



お知らせ

この画面では、親機に WEP などの暗号化が設定されている場合は、[親機の設定も同時に切り替える] のボタンがグレーアウトします。

親機に暗号化設定をしていないにもかかわらず [親機の設定も同時に切り替える] のボタンがグレーアウトしている場合は、[戻る] をクリックし、手順 7 からやり直してください。

9 設定内容を確認し、[登録]をクリックする

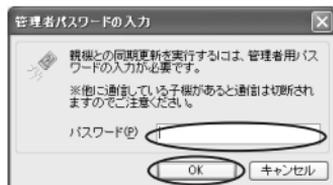
子機のみ変更する場合は、この画面は表示されません。

手順 11 に進みます。



10 次の画面が表示された場合は、親機に設定した管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

親機に管理者パスワードを登録していない場合や、子機のみを設定する場合は表示されません。手順 11 に進みます。

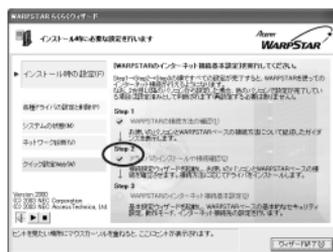


11 [設定終了]をクリックする



12 しばらくウィザード画面に戻り、Step2に✔がつくことを確認する

!が表示されたときは
(←CD-ROMに収録されている「お困りの時には」を参照してください。)



これで子機のドライバのインストールと無線設定が完了です。以降「Step3 WARPSTARのインターネット接続基本設定」は、親機の設定です。ここでは設定の必要はありません。設定する場合は、親機の取扱説明書を参照してください。また、WL11C2の無線設定を変更する場合は、「5 設定する」(←P31)を参照してください。

WL11C2 の取り扱いについて

取り付けるとき

- ・ WL11C2 のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・ コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

取りはずすとき

- ・ WL11C2 を取りはずすときは、以下の操作で PC カードを取りはずせる状態にしてから取りはずしてください。

タスクトレイの PC カードアイコンをクリックする

[WARPSTAR WL11C2 の停止] をクリックする (Windows[®] XP の場合は [WARPSTAR WL11C2 を安全に取り外します] をクリックする)

「 Aterm WL11C2 は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、[OK] をクリックする (Windows[®] XP の場合は  をクリックして画面を閉じる)

WL11C2 を取りはずす

ドライバの手動インストール

WL11C2のドライバを手動でインストールして設定を行う場合は、次の手順で設定を行っていきます。

WL11C2を子機としてご利用になれるOSはWindows® XP/2000 Professional/Me/98SEのみです。Macintoshではご利用になれません。

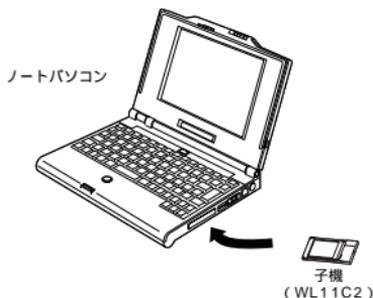
パソコンとの接続（ドライバのインストール）

設定する

サテライトマネージャで設定する

(Windows® XP/Me/2000 Professional/98SEの場合) (☞P33)

ワイヤレスネットワークの設定 (Windows® XPの場合) (☞P35)



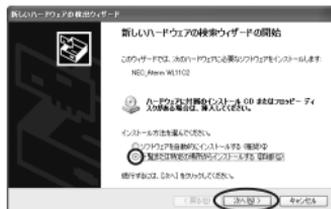
パソコンとの接続（ドライバのインストール）

WL11C2をパソコンに接続してドライバをインストールします。Windows® XPを例に説明します。Windows® 2000 Professional/Me/98SEでは、ドライバが収録されているCD-ROMのフォルダが異なりますので、手順6に注意してください。

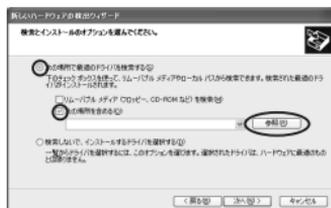
- 1 Windows® XPを起動する
- 2 添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をセットする
しばらくするとメニュー画面が表示されるので、[終了]をクリックしてメニュー画面を閉じてから、手順3に進みます。表示されない場合は、そのまま手順3に進みます。
- 3 パソコンにWL11C2を取り付ける

(次ページに続く)

- 4 [新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示された場合には、[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックする



- 5 [次の場所で最適なドライバを検索する]と[次の場所を含める]にチェックし、[参照]をクリックする



- 6 CD-ROM ドライブから [Drv] - [WinXP] を選択し、[OK] をクリックする

Windows® Me/98SE の場合、[Drv] - [Win9x] を選択します。

Windows® 2000 Professional の場合、[Drv] - [Win2000] を選択します。

- 7 [次へ] をクリックする



(この画面は、CD-ROM ドライブ名が E の場合です。)

- 8 次の画面が表示されたときは、[続行] をクリックする



- 9 インストールが完了したら、[完了]をクリックする



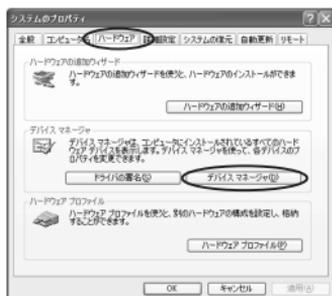
- 10 CD-ROM を取り出す

- 11 WL11C2 ドライバのインストールを確認する

[スタート] - [マイコンピュータ] - [システム情報を表示する] をクリックする



「ハードウェア」タブをクリックする
[デバイスマネージャ] をクリックする



[ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
[WARPSTAR WL11C2] が表示されていることを確認する



➡ 「5 設定する」(P31)に進みます。

(次ページに続く)

② こんなときは

手順 11 で [WARPSTAR WL11C2] の頭に黄色い①が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから、インストールをやり直してください。

手順 11 で他のネットワークアダプタが有効になっている、と正しく動作しない場合があります。

[WARPSTAR WL11C2] 以外のネットワークアダプタは、[操作] - [プロパティ] をクリックし、「全般」タブの [デバイスの使用状況] で [このデバイスを使わない (無効)] をチェックして無効にしてください。

③ ドライバをアンインストールするには

WL11C2 のドライバを正常にインストールできなかった場合やパソコンを WL11C2 のドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL11C2 のドライバをアンインストールします。

起動中のアプリケーションをすべて終了させる

パソコンからそれぞれの OS の手順に従って、WL11C2 を取りはずす

添付の CD-ROM (ユーティリティ集) をドライブにセットする

しばらくするとメニュー画面が表示されます。

[ドライバのアンインストール] をクリックする

[OK] をクリックする

[AtermWL11C2] を選択し、[実行] をクリックする

画面の指示に従って、ドライバのアンインストールを行う

ドライバのアンインストールは、らくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」で、「各種ドライバのアンインストール」を選択してもできます。

WL11C2 を子機として使用するための設定を行います。らくらくウィザードで設定を行った場合は、設定の必要はありません。設定を変更する場合に参照してください。子機間通信（アドホックモード）でお使いになる場合は、添付の CD-ROM に収録されている機能詳細ガイド（HTML ファイル）を参照してください。

サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、WL11C2 の無線の通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線 LAN のデータ保護（暗号化）の設定をすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにも、データ保護の設定を行うことをお勧めします。

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、ESS-ID ステルス機能はご利用になれません。

サテライトマネージャをインストールする

「らくらくウィザードをインストールする」(☞P18)を参照してインストールを行います。ただし、手順7では[サテライト]を選択します。

すでにらくらくウィザードを[すべて](手順7)でインストールしている場合は、サテライトマネージャはインストール済みです。ここでのインストールは必要ありません。



らくらくウィザードで設定を行った場合、Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。(☞P35)

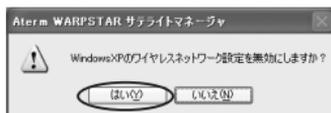
❗ Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには

らくらくウィザードで設定を行っていない場合、Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止する必要があります。

サテライトマネージャを起動する

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする

次の画面が表示されるので [はい] をクリックする



以上の設定を行うと、Windows® XP でサテライトマネージャが使用できるようになります。P33 からのサテライトマネージャでの親機の登録設定、暗号化設定を行ってください。

? サテライトマネージャを起動するには

サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときは、[スタート]をクリックし、[プログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックします。

サテライトマネージャで設定する

- 1 サテライトマネージャを起動する
 [スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ]をクリックする
 タスクトレイにある[サテライトマネージャ]が表示されます。

- 2 タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択する



- 3 [ネットワーク一覧]タブをクリックする

- 4 接続先のネットワーク名をクリックし、[設定]をクリックする

- ・親機の出荷時設定は、「WARPSTAR-XXXXXX」です。(XXXXXXは、親機の側面に記載されているMACアドレスの下6桁)
- ・新しく接続先を登録する場合は、[新規登録]をクリックしてください。



- 5 [通信モード]で[アクセスポイント通信]を選択する



(次ページに続く)

6

暗号化の設定をする

通信する相手の機器（親機、パソコン間通信の場合は、子機）と設定値を同じにしてください。

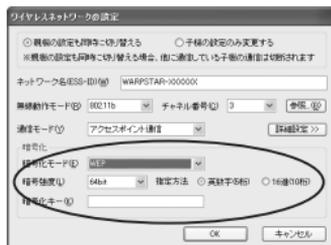
[暗号化モード]で暗号化の方法を選択する

暗号強度を「64bit」「128bit」から選択し、指定方法を選択する

暗号化キーを入力する

英数字は0～9、a～z、A～Zで構成されている文字列を指定できます。16進は0～9、a～f、A～Fで構成されている文字列を指定できます。

暗号化キー番号は1番に設定されます。暗号化の設定を行う場合は、必ず親機側を先に設定してください。



7

[OK]をクリックする

サテライトマネージャで親機との通信状態を確認する

サテライトマネージャで通信している親機や子機間との通信状態を、サテライトマネージャアイコンで確認することができます。

タスクトレイにある「サテライトマネージャ」のアイコンを表示



: WL11C2 が正しく接続されていません。



: 親機が見つかりません。



: 通信相手の子機が見つかりません。(パソコン間通信のとき)



: 親機または通信相手の子機(パソコン間通信のとき)が正しく検出できています。

サテライトマネージャのアイコンが  のように表示されれば設定は完了です。

お願い

同じネットワーク名(ESS-ID)を設定した複数の親機(アクセスポイント)間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの[ネットワーク一覧]のチャンネル表示が[状態]の表示と異なる場合があります。[状態]表示の値をご参照ください。

❗ サテライトマネージャの使い方

タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは、次のことができます。詳細は、添付のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

[プロパティ] :

通信モードの設定、暗号化、子機のデータ保護設定をすることができます。

[状態] タブで親機との通信状態を詳細に確認することができます。

無線の通信状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。アクセスポイント名が正しく表示されていることも確認してください。

[接続先切替] :

サテライトマネージャで設定した接続先(親機)を切り替えて使用できます。

[タスクバーに常駐する] :

[タスクバーに常駐する] にチェックをつけると、パソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

[終了] :

サテライトマネージャを終了します。

ワイヤレスネットワークの設定 (Windows® XP の場合)

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定することもできます。ただし、ESS-ID ステルス機能はご利用になりません。



らくらくウィザードで設定を行った場合、Windows® XP 「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。

Windows® XP 「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。

サテライトマネージャを起動する

通知領域(タスクトレイ)にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする

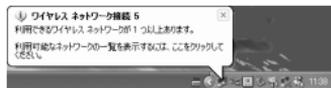
[詳細設定]タブをクリックする

[Windows XPのワイヤレスネットワーク設定を無効する]のチェックをはずす

[閉じる]をクリックする

通信する親機を選択する

1 パソコンの画面右下の通知領域（タスクトレイ）に、右図のようなバレーンが表示される

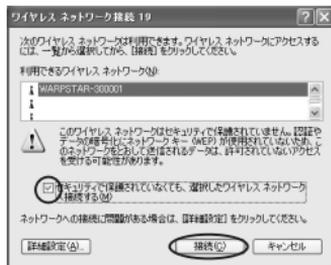


2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

3 「利用できるネットワーク」を選択する

- ・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」です。（XXXXXXは、親機の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）
- ・[利用できるネットワーク]に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。

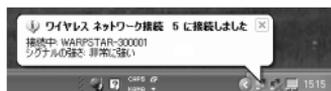
次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていない」を選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて[接続]をクリックしてください。



4 [接続]をクリックする



5 パソコンの画面右下の通知領域で、正しく接続されたことを確認する



暗号化を設定する

以下の設定は、Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP / 128bitWEP をご利用になる場合の説明です。

ESS-ID ステルス機能をご利用になるには、サテライトマネージャをご使用いただく必要があります。(P31)

暗号化の設定を行う場合は、必ず親機側を先に設定してください。

1 パソコンの画面右下の通知領域(タスクトレイ)に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

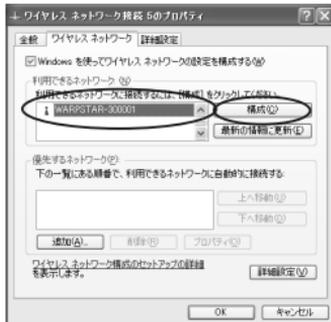
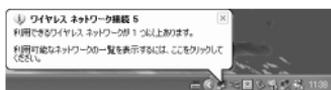
2 「利用できるネットワーク」を選択する

- ・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」です。(XXXXXXは、親機の側面に記載されているMACアドレスの下6桁)

3 [詳細設定]をクリックする

4 手順2で選択したネットワーク名をクリックし、[構成]をクリックする

すでに手順2で選択したネットワーク名が[優先するネットワーク]に表示されている場合は、[優先するネットワーク]欄からネットワーク名を選択し、[プロパティ]をクリックします。



(次ページに続く)

～ の設定を行う

[データの暗号化]にチェックする
(表示される画面によっては [WEP] を
選択する)

[キーは、自動的に提供される]のチェッ
クをはずす

[ネットワークキー]を入力し、同じもの
を[ネットワークキーの確認入力]に再入
力する

ASCII文字/16進数の別は入力された
文字列の長さを元に自動識別されます。

- ・ ASCII文字の場合：英数字 5 文字、
または 13 文字で指定 (13 文字は親
機に 128bitWEP を設定している場
合のみ)

- ・ 16進数の場合：0 ~ 9 ・ A ~ F で
10 文字、または 26 文字で指定 (26
文字は親機に 128bitWEP を設定し
ている場合のみ)

親機の設定に合わせてキーのインデック
ス番号は、1 のままご利用ください。

[OK]をクリックする



画面は例です。

① 暗号化設定 < Windows® XP Service Pack 1 以外の場合 >

[データの暗号化] にチェックする

[キーは自動的に提供される] のチェックをはずす

[ネットワークキー] は、親機に入力した暗号化キーを入力する

【キーの形式】：

親機で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。

親機で「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

【キーの長さ】：

親機で「暗号強度」を標準(64bit)と設定した場合は、40bitを選択してください。

親機で「暗号強度」を拡張(128bit)と設定した場合は、104bitを選択してください。

【キーのインデックス】：

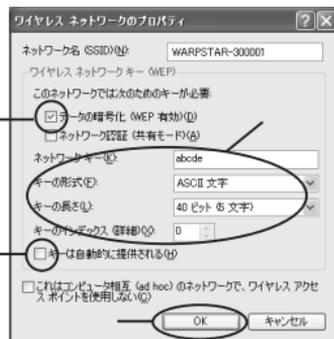
特に使いません。

0 ~ 3 がありますが、0のままご使用ください。

(1 ~ 3 に別の暗号化キーを登録しておき、[キーのインデックス] を切り替えて、別の暗号化キーを使うことができます。)

親機側は、クイック設定Webの[無線LAN側設定] - [暗号化(WEP)] で使用する暗号化キーを確認してください。

[OK] をクリックする



< Windows® XP Service Pack 1 > の場合は画面が異なります。前ページを参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

WL11C2 仕様

仕様一覧

項目		諸元	備考
端末インタフェース		PCカード TYPE	
無線 LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b RCR STD-33、ARIB STD-T66	無線 LAN 標準プロトコル 小電力データ通信システム規格
	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2400 ~ 2497MHz) / ch1 ~ ch14	
	伝送方式	DS-SS方式 (スペクトラム直接拡散方式)	
	伝送速度 () (Mbps)	11.0/5.5/2.0/1.0	自動フォールバック
	伝送距離	[見通し] 50m(11Mbps) ~ 180m(1Mbps)	環境により変動
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵)	
セキュリティ		ESS-ID、64bitWEP/128bitWEP	
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED x 2	
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT 互換機	
利用可能 OS		Windows® XP 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® Me 日本語版 Windows® 98SE 日本語版	
電源		DC5V x 300mA	パソコンから給電
消費電力		約 1.5W (最大)	
外形寸法 (mm)(W x H x D)		約 54 x 8 x 119	
質量		約 0.06kg	
動作環境		温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと

表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

128bitWEPは従来の40bit鍵のWEPを拡張して、104bit鍵にした暗号化機能です。

同一無線ネットワークにおいて、WEPと128bitWEPの混在はできません。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本製品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。



The Standard for
Wireless Fidelity.

Atem WL11C2は、無線LANの相互接続を推進する国際協議団体であるWECA (Wireless Ethernet Compatibility Alliance, Inc) の相互接続性試験に合格し、Wi-Fi ロゴを取得しています。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

安心の保守サービス体制